

せとうちちょう 議会だより 第165号

平成29年5月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～平成29年度予算審査特別委員会審査状況（委員会室にて）～



第35回大島本島南部町村議員大会〔宇検村にて岡田議長（右）・向野副議長（左）〕

こんなことを決めました 第1回定例会 3月2日～17日

第1回定例会では、専決議案1件、当初予算議案11件、補正予算議案12件、条例議案14件、契約議案1件、その他1件の計40件の議案を審議し、38件可決しました。

平成29年度各会計予算議案11件については、議長を除く9名で構成する予算審査特別委員会（委員長 向野 忍、副委員長 池田 啓一）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、原案のとおり可決し意見書を町当局へ提出しました。（各会計当初予算額については町広報誌5月号に掲載のため、割愛しました。）主な議案の要旨は次のとおりです。

乳幼児医療費条例の一部改正について

子育て環境の充実を図るため、子どもに係る医療費の助成について、助成対象を15歳に達した日、以後最初の3月31日までに拡充することに伴い、所要の規定を整備するものです。

飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部改正について

世界自然遺産登録に向け、飼い主の責任強化に伴う条例の一部改正です。
主な内容は、「飼い主は、飼い猫を室内で飼養及び管理するように努め、屋外で飼い猫を放し飼いにしないように努めなければならない

い。」「町内では、飼い猫以外の猫に対し、みだりに餌や水を与えてはならない。」等です。

一般会計補正予算（第4・5号）

4号補正の主な内容は、総務費の「しま元氣プロジェクト費」に、ふるさと応援基金事業費として4119万円、民生費の「国民健康保険特別会計繰出金」として1億6864万円、衛生費に「巡回診療施設特別会計繰出金」として7648万円などを追加するものです。
また、災害復旧費の「農林水産施設災害復旧費」から964万円などを減額するものです。
総額2億8850万円を追加しました。

5号補正の主な内容は、総務費の「公共施設維持管理基金費」に、積立金として5813万円を追加し、災害復旧費の「公共土木施設災害復旧費」3390万円などを減額するものです。
総額4392万円を減額しました。

町営定期船の設置及び管理に関する条例の一部改正について

既定の旅客運賃の統一化を図ることにより、「古仁屋」加計呂麻島間における往復利用に係る利便性向上、観光客等入り込み客にとっての島内観光の拡充が期待できるため、運賃を改定し今後の安定した航路事業の推進を図ろうとするものです。
旅客運賃は大人が360円、小人180円で統一し「古仁屋

」加計呂麻」旅客運賃と設定しました。
※加計呂麻島住民には、割引制度の適用があります。

地域医療連携法人への参加に関する専決処分の承認について

地域医療において、競争よりも協調を進め、質が高く効率的な医療提供体制を確保することを目的とした法人で、地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資することとしています。医療連携推進区域は現在、宇検村・瀬戸内町です。



平成29年度各会計予算審査意見

1. 陸上自衛隊配備についての敷地造成工事及び建設関連工事等については、地元業者が受注できるよう特段の努力をされたい。
2. 古仁屋市街地以外の地域においても、光ファイバー網の整備について鋭意努力されたい。
3. 市街地再開発基本業務設計の中において、駐車場の整備についても検討されたい。
4. 世界自然遺産の拠点施設等の建設誘致については、受け入れ体制を含め強力で推進されたい。
5. 世界自然遺産登録推進室の配置については、真に登録地としての町づくりについて円滑な推進が図られる部局に配置されるよう検討されたい。
6. 世界自然遺産登録に向け、飼い猫条例の周知徹底等ノネコ・ノラネコ対策の強化に努められたい。
7. 地域包括ケアシステムの構築に向け、請島、与路島地区等における介護サービスの格差是正に積極的に取り組まれたい。
8. 町内の環境改善に向け、ポイ捨て防止条例（仮称）等の制定に努力されたい。
9. 与路・請地区のし尿処理・ごみ処理対策について生活環境整備（集落排水施設等の構想）等を検討されたい。
10. 浄化槽管理委託料等については、各課で独自契約するのではなく、一括して業者と交渉を進めるよう努力されたい。
11. 農畜産業の振興に向けて、遊休地解消と草地開発に鋭意努力されたい。
12. 須手地域の住環境の整備を図るため「屠畜場」・「せり市」等のあり方について早急に検討されたい。
13. 水産業の振興（離島漁業再生支援交付金を活用して漁場の再生等）と大島海峡の利活用について鋭意努力されたい。
14. 観光産業の振興に向けて、海洋レジャー等のイベントによる大島海峡の利活用に鋭意努力されたい。
15. 消防団の増強に向け、女性消防団員の確保に努めると共に定年退職者等、幅広い層からの入団促進に取り組まれたい。
16. 古仁屋高校の振興対策については、新学科（海洋学科・その他の学科等）設立など中学生が魅力を感じる学校づくりに努めるとともに、受け入れ体制の充実とPR活動を強力で推進されたい。
17. 町立図書館の図書購入費については、群島市町村の町立図書館予算ランキングの中でも、低い位置に甘んじている本町の現状を、打破するよう努められたい。



一般質問

第1回（3月）定例会では、8名の議員が町政全般にわたり、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



柳谷 昌臣議員

尼崎で開催された瀬戸内観光物産展について

議員 タンカン時期に合わせて2月開催という事ですが、パッション、マンガーに合わせ7、8月開催はできないでしょうか。

町長 パッション、マンガーに合わせた夏場の物産展開催につきましては、関西瀬戸内会や関係者と協議しながら取り組んで参りたいと考えております。

議員 町職員の派遣人員は適した人数ですか。

町長 町職員の派遣人員は、副長を始め商工観光課・農

林課・水産振興課・企画課から13名参加しております。参加職員は、野外における会場設営や特産品販売、集計業務、観光PRなどに従事しており、適正な派遣人員であると考えております。

議員 関西だけではなく、今後、東京、中部、鹿児島で開催する機会はありませんか。

町長 関西以外での開催につきましては、各地域の郷友会などと協議しながら開催に向けて取り組んで参りたいと考えております。

世界自然遺産登録に伴う観光について

議員 網野子集落に公衆トイレを設置して欲しいとの声を耳にしますが、可能でしょうか。

町長 網野子集落への公衆トイレの設置につきましては、奄美市方面から最初の集落ということもあり、また、今後の世界自然遺産登録等による観光客の増加も見込まれることから、網野子トンネルの網野子側出入口口に近い場所に確保してあります町有地を活用いたしまして、設置に向けて協議して参りたいと考えております。

議員 外国語の看板設置は、お考えでしょうか。

町長 外国語の看板につきましては、県の特定離島ふるさとおこし推進事業を活用しまして、今年度まで加計呂麻島・請島・与路島の集落案内板や誘導案内板のローマ字表記を実施しているところであり、

来年度におきましては、英語表記等による大型観光案内板を瀬相港と生間港に設置する予定であります。また、本島側におきましても国や県の補助事業を活用して早急に取り組んで参りたいと考えております。



なお、観光リーフレットにつきましては、平成27年度に英語版を作成しております。



元井 直志 議

世界自然遺産について

議員 国立公園化、世界自然遺産登録を目前にして、瀬戸内町の目玉、アピールするところは何かを伺います。

町長 国指定特別天然記念物のアマミノクロウサギやルリカケス、アカヒゲなど国内希少野生動植物の生息地となっている油井岳、嘉徳の山間部、多くの固有種、種の多様性に富むサンゴ礁などが生息する大島海峡や本島側、加計呂麻島・請島・与路島すべての集落に残る自然や風土、文化、文化財、伝統行事・芸能や数多く残る戦跡などオールせとうち

が目玉であり、アピールするところだと考えております。

議員 住民のモラルの向上、世界自然遺産に向けての意識向上が求められるが町長の所信を伺います。

町長 世界自然遺産登録に向けて、住民のモラルの向上及び意識の向上については、非常に重要な事だと認識しており、特に、空き缶、ペットボトル等のゴミやタバコのポイ捨て、不法投棄、犬や猫の放し飼い、遺棄など一部の住民等による無責任な行動により、なかなか改善できない状況にあります。引き続き、住民のモラル向上について、町民一丸となって取り組んで参ります。

次に世界自然遺産登録に向けての意識の向上につき

ましては、町広報誌やラジオ、新聞、講座、住民説明会等をおして推進して参りましたが、今後も引き続き、町単独及び奄美大島5市町村連携による啓発事業をおして、町民の意識の向上及び気運の醸成を図って参りたいと考えております。

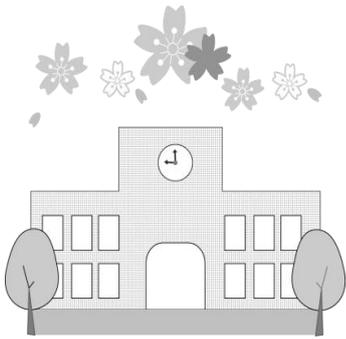
地方創生について

議員 現在、政府は地方創世大臣をおき、地方の経済の活性化を図ろうとしております。しかし現状は地域振興のための商品券事業など、どこも似たり寄ったりの政策で即効的効果はあるかもしれませんが、長続きするが疑問です。国の地方政策には人材支援制度もあります。町長は派遣の希望があるのか、人材の交流についてどのよう

に考えているのかを伺います。

町長 国による市町村への国家公務員等の派遣制度であります、「地方創生人材支援制度」の活用につきましては、現在のところ考え

てはおりません。この制度につきましては、地方版総合戦略策定のための支援であり、本町につきましては、平成27年12月に町独自の「瀬戸内まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、今後はこの総合戦略の「基本目標」の効果検証や改善を行い、各施策を推進して行きたいと考えております。



用地の確保について

議員 芦瀬地区の用地を取得した地目ごとの面積を伺います。

町長 用地取得した地目ごとの面積につきましては宅地995.36平方メートルを取得しております。

議員 用地取得した芦瀬地区の不動産評価の地目ごとの評価額を伺います。

町長 不動産評価の地目ごとの評価額につきましては、国土交通省土地鑑定委員会が設定した地価公示価格や周辺取引事例を参考にし、基本原則である「正常な取



中村 義隆 議員

引価格」に基づき、評価決定しております。また、評価額につきましては瀬戸内町個人情報保護条例の規定による個人情報であり開示できないものと考えます。

議員 雑種地も宅地として購入したのか伺います。

副町長 雑種地についても宅地見込み地として購入しております。

自衛隊配備について
議員 駐屯地への給水計画について伺います。

町長 陸上自衛隊国分駐屯地奄美施設整備計画室との協議を進めた結果、駐屯地及び節子地区への配水可能な水道施設を新設することになりました。

現時点では、平成29年度より事業を行い、平成31年

3月駐屯地への供給開始予定となっております。

観光について
議員 瀬戸内町観光物産協会、奄美せとうち観光協会、あまみ大島観光物産連盟の事業内容を伺います。

町長 瀬戸内町観光物産協会は、観光の振興を図るNPO法人として活動しています。奄美せとうち観光協会は、観光による町全体の地域活性を振興していくことを目的に昨年設立された団体で、海の駅を拠点に活動しています。あまみ大島観光物産連盟は、奄美大島の五市町村が加盟する団体です。

また、奄美群島の十二市町村で組織する奄美群島観光物産協会などがあります。



安 和弘議員

議員 一般質問をする度に、毎回申し上げていますが、我々は、町民の代弁者であり、町民が思っていること、知りたいことを当局に伺いただし、その答えを正しく分かりやすく町民に伝えていく。それが、私共の仕事だと思っております。

平成の始め頃は、議員定数も二十名を数えており古仁屋市街地、山郷、西

方、カケロマ、請、与路と、それぞれの地域から、まるで代表者の如く議会に席を置き、それこそ、我が地域の為に、「活発に議場で討論、議論が交わされたものでした。良し悪しは別にして活発な議会であった」ことは間違いありません。

議員 我々町議は時には、大所、高所からの物の見方・判断もあり、かもしませんが、立ち位置としては、やはり町民の身近なことに目を配り、小さな声にも耳をかたむけていくのが本筋だと思っております。その様な観点から質問いたします。

議員 公民館跡地の今後の見通しについて

議員 建造物の正確な名称と使用目的。

町長 古仁屋休憩施設兼、

コミュニティ施設としてあります。

町長 音響、照明、舞台については、旧公民館より優れたもので、座席は300人分の椅子を用意します。

議員 文化活動の拠点となり得るのか。

町長 従来の公民館の代替になると確信しております。

議員 本格的な文化ホールの建設はいつ頃か。

町長 平成三十年に策定する次期長期振興計画のなかで財政状況を勘案しながら決めて参ります。

我が町の交通体系について

議員 一〇〇円バスの実施運行から、五ヶ月が過ぎたが本格運行への見通しは、

町長 今月末までの試験運行終了後に、地域公共交通会議に提案して判断したいと考えています。

議員 親の介護の為、週に一〜二度加計呂麻に渡っている人達がいると聞いている。その人達のフェリー料金、バス料金の無料化はできないものか、お尋ねします。

町長 飛行機など遠距離の介護については介護割引があるようですが、町においては考えておりません。

一般質問の放映について

議員 放映されたのはいつか、その地域は。されていない地域からの要望はないのか。

町長 開始されたのは、平成九年三月で、嘉徳を除く旧古仁屋町だけで、他はされていません。要望はあります。

議員 「政治の光は平等」という言葉通り、瀬戸内町全域への放映を望みます。



渡島 芳臣議員

フェリーかけろまの運航について

議員 フェリーかけろまは、機関故障のため事故を起こしましたが、この時の対応、乗客にどのような対応を行ったのか伺います。

町長 乗客には、船員が何かに捕まるように指示しております。接岸後は、乗客全員の怪我の有無の確認を行っております。

議員 事故で、岸壁の状態はどつなつたのか、この補修の手順、補助金で出来るのか、完了予定を伺います。

町長 基礎のアンカーボルト

トが變形しており、コンクリート基礎に亀裂が入っております。補修はメーカの補償と考えています。完成は8月の見通しです。

議員 フェリーへの乗下船の際、転倒事故が起きていますが、何件起きているのか、改善されたのか、事故防止対策をお尋ねします。

町長 転倒事故は5件ほど報告されています。事故対策として、滑り止めテープを貼り対処しております。

議員 新船就航時から切符の回収方法が変更になり、一斉に乗船するようになり、雨天時でも大勢並んで乗る為、足の悪い高齢者は早く歩かず雨に濡れながら荷物を持って乗らなければならず非常に不便になったと嘆いて

います。事前に荷物を運べない為、お年寄りは大変こまっているようであります。又、船員も着岸後と出港時にランプドアを上げて船舶を移動させなければならなくなり、三重手間になり作業量が増えて大変の様です。乗客、船員の意見をしっかりと聞いて改善策を検討すべきではないのか伺います。

町長 切符の回収方法は、新船就航に合わせて乗船前に回収する方法に変えたものであります。

議員 旧船フェリーをAコープ前からの発着に向けて再度整備をしますが、整備内容、旧船の就航予定を伺います。

町長 整備内容は防舷材タイヤの設置、仮設事務所の設置、水深調査であります。

就航は3月末を予定しています。

【議員】 町政について

百円バスの事業を進めていますが、赤字補填額はいくらの見込みか、大幅の赤字が見込まれるが、今後も継続の予定か伺います。

【町長】 赤字補填額は、6ヶ月で海浜バスが二百六十一万円、加計呂麻バスが百四十五万八千円、合計 四百六万八千円の見込みです。今後は町の公共交通会議で審議し、結論を出したいと考えています。



澤 佳男議員

「フェリーかけろま」について

【議員】 新造フェリーの設計は、いつ、どこで決定されたのですか。両頭船にした理由、両頭船の仕組みを説明してください。両頭船の長所、短所は何ですか。

【町長】 航路改善協議会において承認され、平成25年3月に基本設計を完了し、平成27年11月に実施設計を完了しています。

両頭船は、スクリーンと舵、操船室が前後にあり、方向を変えずに前後どちらにも進める仕様となっています。長所は、湾内における操船

時間の短縮や車両の積載を容易にしていることです。短所は、通常船型に比べると船体抵抗が増加することです。

【議員】 両頭船になったこと

で、車の航送に関しては確かに便利になりました。しかしそのため、前のフェリーには備えられていた2階のデッキがなくなり、3階のデッキもなくなりました。乗船客にとってはひじょうに窮屈な船になりました。乗船客はすべて3階の客室に閉じ込められる格好になっていきます。

前のフェリーでは、2階・3階のデッキから、大島海峡の風に頬をなぶられながら、絶好の景観を存分に楽しむことができました。特に、初めて瀬戸内町を訪れた観光客にとっては、ゆ

ったりとした海峡の船旅を味わうことができるということで、瀬戸内町独特の自然を味わうことのできる醍醐味の一つであったのですが、それを自らつみ取ってしまったのです。1便当たり、平均4台程度の車の乗り降りの便利のために、すべての乗船客に不便を強いることになり、そのうえ、大島海峡の船旅の魅力を奪い取ってしまったのです。

このことについて、担当課の考えを聞かせてください。

【商工観光加課長】 新造船について

については、平成25年に基本計画を完了していますが、この時点で、両頭船でいくと決まっています。

客室についてはいろんなパターンが計上されていますが、最終的にこの形がい

くと決まりました。前のフェリーにはオープンデッキがあったのですが、今回はオープンデッキを廃止して、全室禁煙で整備することにしました。直接、外を眺められるスペースがあるに越したことはなかったのですが、この時点では禁煙室を広くした客室をとるということがベストである、ということが出た結論であると理解しています。





榊 藤光議員

古仁屋市街地の下水道事業計画について

議員 古仁屋市街地の下水道事業の計画について、お伺いします。

町長 古仁屋市街地の下水道事業計画については、従来の合併処理浄化槽設置に対する補助金への上乗せや、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え費用への補助に加え、汲み取り式便槽から合併処理浄化槽への切り替についても補助金対象とする事で個別汚水処理の積極的な普及を図っております。今後、合併処理浄化槽の設置については、広く普及啓発を図り、

公共用水域の水質浄化に努めて参りたいと思います。

複数の市町村が連携した、広域観光圏の形成について

議員 徳之島・与路島・請島・加計呂麻島・大島本島の各島々には特色ある自然・歴史・文化があります。この、「徳之島く大島本島」を広域観光圏として関係市町村に提案できないものか、お伺いいたします。

町長 ご提案の「徳之島く大島本島」の広域観光圏につきましては、12市町村が連携した「奄美群島観光物産協会」の中で取り組んで参りたいと考えております。

世界自然遺産登録記念・ヨットレースについて

議員 「奄美く琉球」が世界自然遺産に登録された記念事業として「西表島・沖繩北部・徳之島・奄美大島」間を結びヨットレースを関係機関に提案できませんものか、お伺いいたします。

町長 現在、平成30年夏の「世界自然遺産登録」を目指し、国・県・関係機関団体、奄美大島5市町村、広域事務組合等が連携して取り組んでいるところであり、平成29年3月7日には国立公園指定が決定し、その記念事業につきましても連携して行っておりますので、世界自然遺産登録に伴う記念事業の関係機関への提案については可能かと思っております。

フェリーかけろまの事故について

議員 事故の原因は船舶の前進・後進を推進するエンジンの後進ギアの不具合が原因でしたが、新船のデザインや内部構造が旧船と大きく変わっており利用する加計呂麻島民には戸惑いや不安がありますので、利用者へ安全・安心を納得される手段を予算をかけてでも改善していただきたいと思っております。如何でしょうか。

町長 操船性や距離感等を習得してもらうために、船長及び機関長による訓練を、納品前には造船所沖において、納品後は古仁屋港、瀬相港、生間港において合わせて約1ヶ月半ほど実施しております。この操船訓練の中で感じた船長や機関長の意見をメーカー側と協議し改修が図られてきたところではありますが、今回の事

故を受けまして、新たに船長や機関長等乗組員から提出された意見を基に、設計・施工業者へ最善を尽くして取り組むよう依頼しているところであります。



向野 忍議員

平成29年度予算編成について



「瀬戸内創生マニフェスト」「瀬戸内創生実行計画」「瀬戸内まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策が、平成29年度予算にどの様に組み込まれているのか伺います。

町長 地方創生関連事業として力強く推進するため、重点的・優先的に予算編成しました。主な新規事業として、光ブロードバンドサービス整備事業や結婚新生活支援事業、シルバー人材センター設立準備事業、児童・生徒医療費助成事業、地域型保育事業、奄美せと

うち観光協会運営費補助金等を計上しています。

議員 「加計呂麻島展示・体験交流館」について

「加計呂麻島展示・体験交流館等在り方検討委員会」からの提言を受け、町長として両施設をどの様に位置付け、改善していくのか伺います。

町長 ただの箱モノではなく、集客性があり情報発信のできる施設、更には地域経済の活性化に繋がる施設となる様に、今後年次的に予算をつけ整備していきたいと思えます。

議員 「与路・請・加計呂麻シマ構想」について
構想内容、事業の進捗状況、今後の計画等について伺います。

瀬相港ターミナル兼役場支所について

町長 国の地方創生の主要施策である「小さな拠点」づくりを中心に「基本構想」の策定に向けて進めていきたいと考えています。

議員 「小さな拠点」づくりとは。

企画課長 複数の集落生活圏の中に、生活サービス機能を集約し、瀬相港と伊予茂港等を繋いだ小さな拠点として交通のネットワークで結んでいく構想です。

議員 せとなみの航路見直しと新船建造について

町長 航路見直しについては、瀬相港ターミナル兼役場支所の建設に合わせて、加計呂麻島と請島・与路島を結ぶ3点航路を整備した

いという構想の段階です。新船建造については、就航から耐用年数が14年になることから、船の規模等の見直しも含め建造の検討をする必要があります。

議員 池地小学校の再開について

再開に向けた準備等の現状及び今後の課題等について伺います。

教育長 平成26年度から3年間休校であった池地小学校が、新たに2名の児童の転入、入学により、平成29年4月1日から再開校します。現在、体育館・給食棟の防水補修、電気・給排水、サッシ等の改修、給食調理器具、電気製品の整備、学校備品及びパソコン等の教材備品の整備等、教員住宅改修も進めています。

今後の課題については、継続した児童の在籍であると思えます。児童数確保に向け、請島への移住・転入対策をはじめ「にほんの里・加計呂麻留学制度」の推進等、町及び校区の皆さんと連携して、児童数の増対策を図らなければならぬと考えています。



(再開校前の池地小学校)

～ 議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は6月に開会予定です。議会を傍聴したい方は役場4階へお越し下さい。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。

(72-1072 直通)



議場から大島海峡を望む



傍聴席からの風景

第35回大島本島南部町村議会議員大会（宇検村、大和村、瀬戸内町の3町村で構成）が、2月14日（火）宇検村で開催されました。

会長（岡田弘通議長）あいさつに始まり、宣言（向野忍副議長）を行い、3町村の抱える課題解決に向けて、それぞれの町村が懸案事項を議題として提出審議しました。

本町からは、「国道58号勝浦～阿木名間トンネルの早期実現について」（元井直志議員が提案理由を説明）を提出し、採択されました。

大会当日には、公務ご多忙の中、本町出身の林健二県議会議員・禧久伸一郎県会議員御両名の先生の御出席を賜り盛大に執り行われました。

また、議員大会後、ファミリークリニックネリヤ 院長徳田英弘氏による「住み慣れたシマで自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために～地域医療構想と在宅ケア～」と題し、研修会を行いました。

編集後記

南の島にもやはり冬はやってきます。それなりの冬が遠のいて、春の気配を感じるようになって、北国の人たちとはまたひと味違う喜びに、わたしたちはひたります。

議会の動きを、町民の方々に知ってもらうために、関心を持ってもらうためには、どうすればいいのか。

このようなことを考えるたびに、わたしたちは、この「議会だより」のことを思い返すのです。そして、大切にしなければならぬと思うのです。

議会報編集委員会

	委員長	澤 佳男
	副委員長	元井 直志
委員	岡田 弘通	
向野 忍		
池田 啓一		
中村 義隆		
町田 孝明		